

# 令和5年 アユ釣獲試験結果

内水面総合センター 橋本 寛

## 1 試験実施の経緯

- ・令和4年、天然遡上もなく放流もしていない漁場（大野市西勝原）にセンター産アユ（F-1）種苗を放流し、成長や生残、釣獲状況を調べることにした。
- ・その結果、放流したセンター産アユは、友釣りでも釣れるサイズにまで成長していること、出水はあったが流されずに生存していたことなどがわかり、釣果試験に参加した方々から合格点をいただいた。
- ・今年は放流するセンター産アユ種苗を F-1 種苗と F-2 種苗（脂鰭カット）の2系統とし、両者の違いをみることにした。



## 2 試験の内容

- (1) 放流場所 大野市西勝原（2か所；三熊、キャンプ場）
- (2) 放流種苗 センター産アユ 約100kg

種苗	放流量	平均体重	平均全長
F-1 (天然♀×天然♂)	55kg	9.0g (6.8~14.3)	10.2cm (9.2~12.3)
F-2 (F-1♀×F-1♂)	45kg	9.2g (5.8~13.9)	10.2cm (9.0~11.8)

- (3) 放流日 令和5年6月6日
- (4) 釣獲試験 令和5年7月18日、8月21日、9月14日、10月30日  
(10月30日は採捕なし)  
友釣りにより採捕し、全長・体重の測定、由来判別を実施

## 3 試験の結果

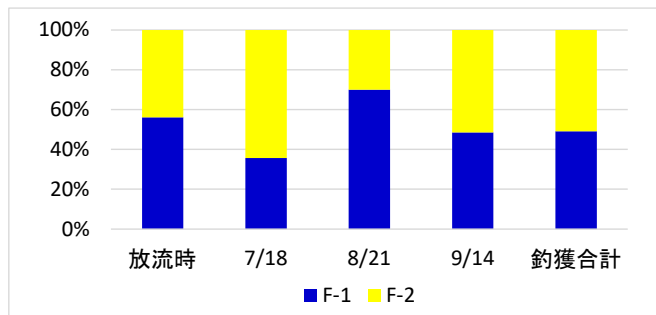
- (1) 釣果
  - ・表のとおり。

試験日	7月18日	8月21日	9月14日
放流後	42日	76日	100日
漁法	友釣り	友釣り	友釣り
人数	8人	8人	3人
時間 (延べ釣獲時間※1)	1~2時間 (15時間)	2~3時間 (17時間)	3~6時間 (15時間)
釣獲尾数 (F-1) (F-2)	14尾 (5尾) (9尾)	10尾 (7尾) (3尾)	35尾※2 (16尾) (17尾)
1人1時間あたり	0.93尾	0.59尾	2.33尾
水温	18.2~18.8°C	21.2°C	19.6°C
その他		河川水濁り	

※1：人数×釣獲時間、※2：1尾は琵琶湖産？、1尾はロスト

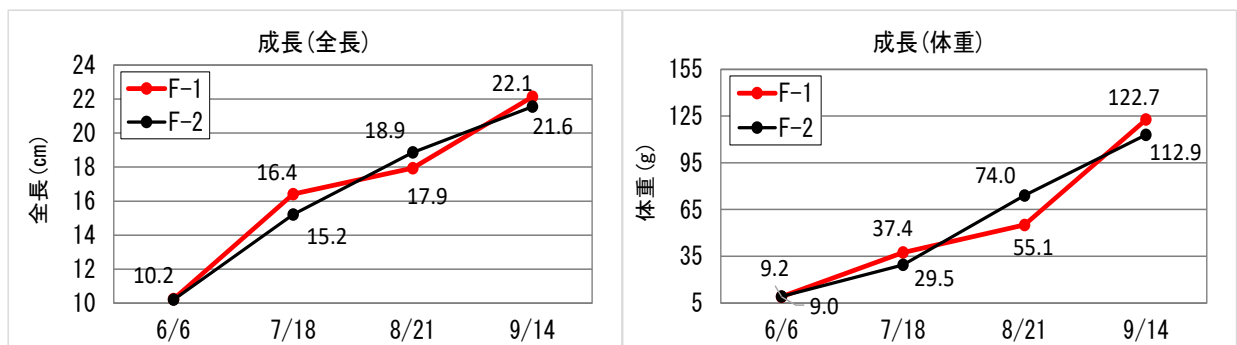
## (2) 釣られたアユの由来

- 外部形態の特徴から、釣られたアユは1尾(9/14)を除き“海産系人工産(センター産)”と推測された。
- 日によって差はあるが、試験期間中、F-1とF-2は、ほぼ同数釣獲された。



## (3) 成長

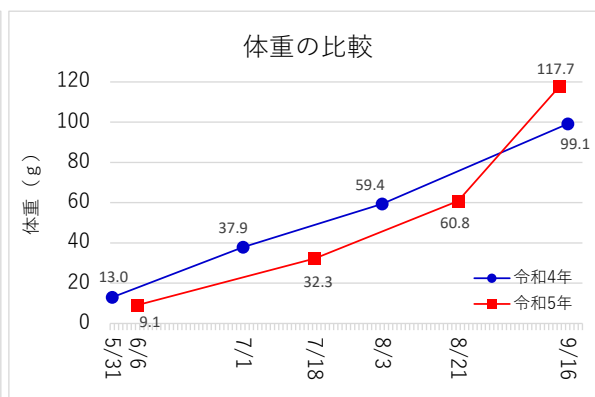
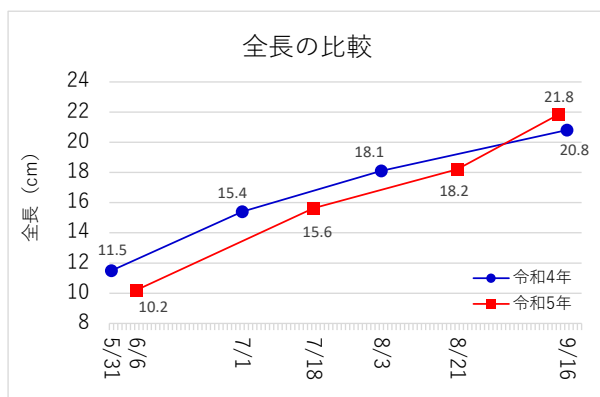
- 放流から100日間で、F-1が11.9cm(113.7g)、F-2が11.4cm(103.8g)大きくなっていった。
- F-1とF-2の間には、成長に大きな差はなかった。



## (4) 去年との比較

- 途中までは去年のほうが大きかったが、最終的には今年のほうが大きく成長した。
- 日間成長量は今年のほうがよかった。

年	全長	体重
令和4年	0.09cm/日	0.8g/日
令和5年	0.12cm/日	1.09g/日



※令和5年はF-1とF-2の合算

#### 4 まとめ

- ・内水面総合センター産アユは今年もしっかりと釣れた。
- ・釣獲対象として十分なサイズに成長し、流されずに生き残っていた。
- ・F-1とF-2については、釣獲尾数や大きさ、成長などに大きな差はなかった。
- ・今年は群れているものもいたが、大岩に付いているアユは去年より大きかった。

#### 5 今後の予定

- ・皆様からのご意見やご要望を参考に検討する。

試験に御協力いただきました皆様、

ありがとうございました。

